

第20回
トラック輸送における取引環境・労働時間改善
青森県協議会

日 時：令和8年3月18日（水曜日）

14：00～

場 所：青森県トラック協会研修センター 2階 大研修室

1. 開 会

【青森県トラック協会 葛西事務局長】

それでは、ご案内のお時間となりました。ただいまより第20回トラック輸送における取引環境・労働時間改善青森県協議会を開催させていただきます。

委員の皆様方におかれましては、お忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。

座長にバトンを引き継ぐまでの間、進行を務めさせていただきます、青森県トラック協会事務局長の葛西でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

また、報道関係者の皆様をお願いいたします。会議の静穏を図るため、頭撮り・写真撮影は議題に入るまでとさせていただきますので、ご了承ください。

本協議会の委員は委員名簿、また本日の出席者は出席者名簿のとおりでございますが、委員の交代がございましたので、今回新たに委員になられた方のお名前を読み上げる形でご紹介させていただきます。

三菱製紙株式会社八戸工場工場長、石黒英明様です。前工場長の小林裕昭様からの交代となります。なお、本日は欠席となっております。

全日本運輸産業労働組合青森県連合会執行委員長、佐藤淳様です。前執行委員長の関 保様からの交代となります。

厚生労働省青森労働局局長、角井伸一様です。前局長の井嶋俊幸様からの交代となります。

青森県経済産業部部長、上沢謙一様です。前部長の三浦雅彦様からの交代となります。なお、本日は代理で課長の築田隆様にご出席いただいております。

次に、配付資料を確認させていただきます。

上から議事次第、委員名簿、出席者名簿、配席図、資料1「令和7年度の取組について」、資料2－①「物流に関する最近の法改正とトラック・物流Gメンについて」、資料2－②全国農業協同組合連合会青森県本部様の資料、「トラック輸送における取引環境・労働時間改善青森協議会資料」、資料2－③、青森県トラック協会の資料、「青森県のトラック輸送 現状とお願い」、資料2－④、青森労働局の資料、「青森労働局提出資料」、資料3「今後の取組（案）について」、以上でございます。

なお、不足等ございましたら、事務局のほうにお申しつけいただければと思います。

2. 挨 拶

【青森県トラック協会 葛西事務局長】

それでは、協議会の開催に当たりまして、角井伸一青森労働局長よりご挨拶を申し上げます。

【青森労働局 角井局長】

青森労働局長の角井でございます。皆様、本日年度末の大変お忙しいところ、本協議会にご参加いただきまして本当にありがとうございます。また、本協議会の取組につきましてご高配を賜りまして、この場をお借りしまして感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、令和6年4月、時間外労働上限規制や改正されました改善基準告示が適用されてから、はや2年がたとうとしております。労働局といたしましては、労務費について価格転嫁を行うよう促すとともに、荷待ち時間をなくすよう荷主への要請などを行ってきたところでございますけれども、トラックドライバーの残業時間につきましては、国の統計ではありますけれども、全体平均の約3倍程度多くなっているというところでございますので、依然として労働時間は長くなっているという状況でございます。

人手不足が強い業種であることから、道路貨物運送業において、人材を確保し、持続的に発展していくためには、労働時間をはじめとした労働条件の改善が必要であり、そのためにもトラック輸送における取引環境の改善の取組が引き続き求められているところでございます。

さらに、人手不足に関してですけれども、厚生労働省が公表した資料を読みますと、このまま荷主の対策を何もしないとなりますと、2030年には輸送能力の34%が不足するというようなことも言われておりまして、いわゆる物流の2030年問題であります。この辺、大きな危機感を持っているところでございます。

青森県は、圧倒的に消費地との距離が長く、2030年問題を控える今、まだこれから改正していかなければならないことが多く残っていると思われまします。本協議会におきまして、情報を共有して解決策を模索するということが非常に重要な課題だと思っております。

本日は、本協議会における令和7年度の取組状況と令和8年度の取組方針について議論いただきますので、委員の皆様からは忌憚のないご意見をいただきたいと思います。本日はよろしく申し上げます。

【青森県トラック協会 葛西事務局長】

ありがとうございました。

ここで、報道関係者の皆様をお願いいたします。写真撮影等はここまでとさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

3. 議 事

【青森県トラック協会 葛西事務局長】

それでは、これからの議事進行は、座長であります櫛引先生にお願いしたいと思います。櫛引先生、お手数ではございますが、一言ご挨拶と、議事の進行をお願いいたします。

【櫛引座長】

青森大学の櫛引でございます。年度末のお忙しいところ、皆様お疲れさまでございます。

2024年問題という言葉が聞かれなくなって、何となく世間一般の関心が薄れていないかと気になっているところですけども、物流と働き方の傾向をどう見るか、様々な取組の報告と意見交換を通じてですが、改めて現状と課題を確かめられると存じます。

加えて、今日の議題の外側にある話ですけども、特に青森市、津軽の方々はこの年の豪雪がとても、要は物理的にトラックが動けなくなったという経験は、本当に物流の途絶がどれくらい恐ろしいか、みんな本当に恐怖感を味わったのではないかと。加えて、昨今、ここ一両日も原油、燃料、ネットで見たら今日一日で青森市内の銭湯が燃料費高騰のために店を閉めることにしたという貼り紙が出たとか、あと弘前市ではガソリンが入ってこないで店を開けられないと。そういう札をかけて店を開けられなかった店があると。さらに、うちにも今日、灯油屋が来たんですけども、100リットルまでしか入れられませんと。いつ物が入ってくるか分からないということで、今日の話とは直接関係ないんですけども、非常に厳しい環境の中で、それでも物流問題直下の働き方の検討をということで、非常に重いミッションが課せられているなと思っているところです。

本日は、進行にご協力くださるようよろしくお願いいたします。

では、ここから座って失礼します。

本日の議事の進め方につきまして、あらかじめご説明いたします。

議題（１）、令和７年度取組について事務局から説明をいただいた後、皆様からご意見、ご質問をいただきます。続いて議題（２）、各機関からの取組状況と情報提供について、各委員及び事務局から説明をいただき、その後、皆様からご意見、ご質問等をいただきたいと思います。さらに、議題（３）として構成員からの報告をいただいた後、最後に意見交換を行いたいと思います。

それでは、議事に入ります。

(1) 令和7年度の取組について

【櫛引座長】

まず、(1) 令和7年度の取組について、事務局から説明をお願いいたします。

〔青森運輸支局 資料1に基づき説明〕

【櫛引座長】

ありがとうございます。

ただいま説明のありました内容につきまして、委員の皆様からご意見、ご質問等ございませんか。特にございませんでしょうか。

それでは、令和7年度の取組については、事務局の報告どおりにまとめるということでしょうか。

はい、ありがとうございます。

(2) 各機関からの取組状況と情報提供について

【櫛引座長】

では、続きまして、議題(2) 各機関からの取組状況と情報提供について、各委員及び事務局から物流に関わる取組や情報を共有していただき、それに対して意見交換を行います。

初めに、青森運輸支局から説明をお願いいたします。

〔青森運輸支局 資料2-①に基づき説明〕

【櫛引座長】

ありがとうございます。

続けて、東北運輸局からも説明をお願いいたします。

〔東北運輸局 資料2-①-2に基づき説明〕

【櫛引座長】

ありがとうございました。

以上のご説明につきまして、委員の皆様からご質問、ご意見はございませんか。

【櫛引座長】

あと、2024年に白トラが摘発されてますよね。あ後はじゃあ、同様の行為はないですか。

【事務局】

摘発はされていないですね。

【櫛引座長】

あともう1件、それと異常気象時による運送依頼というのがすごい、さっき雪の話をしたので気になったんですけども、これはちなみにどういう異常気象時のことなんですか。

【事務局】

トラック物流事業の異常気象ということに関しては、基本的には警報級の災害があったときに、例えば大雪警報だとか大雨警報が出ているのに関わらず、それによって例えばその時間までたどり着けない、もしくはその日には運行できないというような気象条件であるにもかかわらず、何としても荷物を届けろとか、そういうちょっと言い方は悪いですけども無理難題を言うような荷主さんがいた場合には、Gメンとして是正してもらう。

似たような話でいうと、地震とかがあって津波警報が出て、例えば仮に津波が来ますというとき、避難しないといけない区域に荷物を届けろとか、そういった形の、要は警報級のものに何かあれば。もしくは、そういう恐れがあればということなので、台風がもう近づいていて、今は台風警報は出ていないんだけど、その地域に着く頃はもうやばいよといったようなのを無理に行かせるとかいうことになれば、Gメンとしてはお話を聞かせていただくことになるかと思います。（

【櫛引座長】

去年の年末は大きな地震があって、最近また地震が続いていますよね。そういう意味では、大雪といい集中豪雨といい、本当に気象の激甚化に直接脅かされるという機会が増えているので、やはりこういったことはやはり啓発していかなくちゃいけないと思います。

あともう一つは、これは東北運輸局さんになると思うんですけども、実はうちのゼミの学生が貨客混載をテーマに卒業論文を書きまして、運輸支局さんには大変お世話になったんですが、先日、弘前のキャノンの工場からトナーカートリッジを八戸港を使って船で首都圏に運ぶという取組がニュースで紹介されていたんですけども、そういうふうな情報を出していくことで、業界の方のみならず一般の県民、国民の皆さんにもいろいろ知っていただくことも大事なかなと思ったんですが、このニュースってどこかでリリースしたんですかね。なぜこれがモーダルシフトというんですね、あんまり情報がぱっと出てきづらい話がちゃんとニュースになっているのを見て、ああすごいと思ったんですけども、どうニュースになったか。もしご存じだったら教えていただけますか。

【事務局】

今の一番最後の認定制度ができますという資料の部分かと思うんですけども、こちら今現在、現時点では閣議決定されたという部分で、まだ公式的には公表になっていないというところで、ニュースといいますか、プレスのには国土交通省のほうで3月3日にプレスリリース、あとホームページのほうに公表という形になっております。

【櫛引座長】

ニュースで、2日間の現場環境でトラックの運転手さんが確保しやすくなるので大変助かるということで、キャノンの方のコメントが紹介されていました。ありがとうございます。

【事務局】

ありがとうございます。

【櫛引座長】

すみません、一人で長々としゃべっちゃって恐縮ですが、ほかにどなたかご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

特にありませんでしたら、今の運輸支局さんと事務局さんの情報共有について、報告どおり取りまとめていただくということでよろしいでしょうか。

はい、それでは取りまとめをお願いします。

続きまして、全国農業協同組合連合会青森県本部からご説明をお願いします。

〔全国農業協同組合連合会青森県本部 資料２－②に基づき説明〕

【櫛引座長】

ありがとうございました。

いかがでしょうか、皆さんのほうからご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

去年の今頃ですけれども、いろんなメディアで青森のリンゴがすごく取り上げられていたなと思うんですが、厳しい環境の中で意識は確実に変わっていると。劇的な伸びはないんだけど、着実に数字自体は伸びているということで、これは希望の持てる数字なのかなというふうに拝見していました。

【福島委員】

はい。やはり我々生産者のリンゴを扱っている、手取りを上げるためというところでは、確かに法を守ることは最優先ではあるんですが、コストの上昇というところもやはり抑制していかなければいけないというのもありますので、このまま、今各事業者さんが企業努力なのか本当にできるのか、改定をやっている状態ではありますが、いずれ耐えられなくなるときが来るんだろうなということはいち早く……今のところ我々のほうがむしろコストは高くなってしまっただけです。ですので、このやりづらは正直ありますけれども、本質のところを説明してやっていくしかないんだろうと思ってやっております。

【櫛引座長】

未来を見据えての取組だということで非常に説得力のあるご説明でした。

ほかにご質問、ご意見ございませんでしょうか。

では、全国農業連合さんからの情報共有については、報告どおりに取りまとめるということよろしいですか。はい。

では、事務局には取りまとめて報告書をお願いします。

続きまして、青森県トラック協会さんからお願いいたします。

〔青森県トラック協会 資料２－③に基づき説明〕

【櫛引座長】

ありがとうございます。

ただいまのご説明につきまして、皆様からご質問、ご意見ございませんでしょうか。

すみません、僕からばかりで恐縮ですが、去年に比べて劇的に回収率が上がった理由って何かあるのでしょうか。

【事務局】

今回のアンケートは、青森県によります運行事業支援金の申請と一緒にアンケートを回収するという方法を取らせていただきました。皆さん、支援金のほうには随分と申請いただきましたので、その関係で回収率が大幅に上昇しております。

【櫛引座長】

ありがとうございます。非常にデータの解像度が本当に素晴らしいものですから。このアンケートの結果というのは、いろんなところで広報は告知されていると思うんですが、回答した皆さんは結構読んでいるんですかね、これは。

ちょっと聞くのもなんですが、要は、ああ、みんなそうなんだと分かれば、もっと頑張っていろいろ改善しなきゃと思うかもしれないし、あ、結果見てないやとなると、相場感が分からない人もいるかなと思うんですがそのところ。

【事務局】

アンケート結果を公表したのは、今日が初出しでございます。

【櫛引座長】

多分、これから先、いろいろな形で回答してくださった皆さんにこの結果を確実に読んでいただくようにすることで、意識改革が進むんじゃないかなと思いますので、期待をしております。

【事務局】

はい、ありがとうございます。

【櫛引座長】

あと、すみません、もう一つなんですが、12ページにどういう対応をしたかというところで、賃上げが回答者のみだと77%。これ、構成員で28%になっていますけれども、これは複数回答でこうなっているのであって、回答者もこれ645件なんですけれども、7割以上の方が賃上げ、ベースアップに踏み切っているということですよね。

【事務局】

複数回答でそのようになります。

【櫛引座長】

そうですね。なので、物すごい、やはり4分の3の方がこういうふうな具体的に対応の改善を答えていると、これはすごいニュースだと思ったので、ちょっと目に留まりました。以上です、ありがとうございます。

ほかに何かございませんでしょうか。

では、今のご報告、情報共有について、報告どおりまとめるということでよろしいでしょうか。はい。

では、そのとおり取りまとめをお願いいたします。

続きまして、青森労働局さんからご説明をお願いいたします。

〔青森労働局 資料2－④に基づき説明〕

【櫛引座長】

ありがとうございます。

ただいまのご説明につきまして、ご質問、ご意見はございませんでしょうか。

特になければ、報告どおり取りまとめるということでよろしいでしょうか。はい。

では、今のご報告を踏まえて取りまとめたいと思います。

(3) 構成員からの報告

(4) 意見交換

【櫛引座長】

ここまでのところでご意見、ご質問いただきましたけれども、全体を通してのご意見とかご質問とかありませんでしょうか。

【森山委員】

トラック協会でございます。

国土交通省さん、それから今、説明いただきました厚生労働省さん各省庁、また公正取引委員会さんとか行政、労務、法律、危機管理の指導を、我々やっている、トラック業者としてそういう支援をいただいているわけですので、業者側としてもっと、まあ正直に取り組んで、具体的な行動を起こして荷主さんと相談をしながら、いろいろな課題に結びつけていかなければならないと改めて感じておりますので、業者側の責任も重いなということで考えておりました。以上でございます。

【櫛引座長】

ありがとうございます。ちょっと脱線になってしまいましたけれども、ご意見ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。どうぞ。

【小山田委員】

経営者協会の小山田でございます。

非常に多岐にわたるご説明いただきまして、改めて物流に関する、2024年という言葉はすっかり覚えてない、2030年問題というのもすぐ目の前の問題でございますし、労働力不足ということが加速度的に進んでいくということを考えますと、まだ2030年、時間あるなとかそういう感覚ではいけないなということは改めて感じたところでございます。

そういう中で、本日説明いただいた中でのいわゆる7年度の補正事業の中でも中小物流事業者労働生産向上等の推進ということで事例的なものも載っておりますけれども、これは助成事業といっていいんでしょうか、これを活用して何か最近トレードとして特にそういう支援ニーズが高まっているようなところで、何か断片的にでも情報がございましたらですね。特に、最近AIを活用して革新的に生産性を上げる人手不足対策につながるというふうなことや、いろいろな協会の中でやっておりますので、もし本日の会議の中でその生産性向上につながるよ

うな最近の新たな流れとかA Iを活用してこういうものがとか、最近はニーズが増えていますとか、何かありましたらご紹介していただきたいかなと思います。以上です。

【櫛引座長】

A I とかを使ったということですが、何かありますでしょうか。

資料としてまとめてなければ何か、トピックとか。何か最新の話題とかもしありましたらお願いします。

【事務局】

東北運輸局ですけども、すみません、A I とかそういった活用した生産性向上というところでは、すみません、この場でお出しできるようなものはちょっと、すみません、把握しておりませんでした。

【小山田委員】

助成事業の活用状況というのはどんな感じなんでしょうか。相当使われているとか予算が足りないとか、まだ十分ありますとか、何かそこら辺は。

【事務局】

今のところで行きますと、私のほうで説明した資料の、中小企業のところの部分かと思うんですが、東北運輸局のほうで直接的に申請を受けるというのはなくて、県庁さんのほうに行って国土交通省のほうでやっている部分だったので、その実績というところがですね、申し訳ございません、こちらではちょっと把握しておりませんでした。

【小山田委員】

ありがとうございます。非常に重要なツールになると思いますので、ぜひしっかりとさらに内容を充実していただければなと、ご要望申し上げます。以上です。

【事務局】

ありがとうございます。

【櫛引座長】

ありがとうございます。

今、お二方からご報告ありましたけれども、関連してどなたかご発言等ございませんでしょうか。

県としては特に、何かありませんか。

【梁田委員】

先ほどアンケートのほうの画面でトラック協会さんのほうの、ご協力いただいたこの支援金のほうの最後の回収で回収率が上がったという話がありまして、こちらとしても大変ありがとうございました。昨年度実施した支援金と大型免許の取得支援事業ですね。今議会中で審議中ということもあるんですけれども、運行支援金をまた継続して、国の予算を発注して実施することとしております。

また、大型免許の取得費用につきましても、牽引免許とか中型免許のほうも加えまして、人材確保の支援ということでやっていくこととしてございます。

以上、報告でございました。

【櫛引座長】

ありがとうございます。その他、ございませんでしょうか。

組合のほうでは、特に何かありますか。

【佐藤委員】

お疲れさまです。労働組合の佐藤です。

いろいろ説明ありがとうございました。私から一つ聞きたいことがありまして、トラックGメンの件ですね。県内で行っている調査とか取締りの結果など、関係した情報共有とか活用のほうはどのようにされているのか、ちょっと教えていただければと思います。

【事務局】

結果につきましては、調査結果、働き方等の情報等は東北運輸局のホームページに件数としては載せてあります。今、数字を持っていないのでお答えできないんですけれども、そちらに掲載はしております。

【事務局】

補足して、件数につきましては東北運輸局管内という形で、県ごとの数字というのはちょっと載せてはなかったですね。（「はい」の声あり）

【佐藤委員】

載せることはない。

【事務局】

今のところはそうですね……今後ちょっと検討はさせていただきたいとは思いますが、現時点ではちょっと管内という形になっています。

【佐藤委員】

以外と組合員からはそのような現場の声、声とかどのようにやっているかというのを知りたいという声が結構ありまして、もしよろしければ上げてもらえればと思います。よろしくお願いします。

【櫛引座長】

すみません、議題の（３）構成員からの報告と意見交換がごっちゃになってしまっ

て。今の件に関してなんですけれども、ちょっと一委員としてあれなんですけれども、今ネットに載せるということの意味が、また全然変わってきちゃってですね。前だとネットの中に情報を取りあえず載せておくと。届こうが届くまいが、取りあえずは載せておく。もしくは載せるべきものを載せてないみたいな、そういうことはすぐ、今でもこれ多いです。特に、青森は全国でも一番、ネットリテラシーが低い県というのはこれはもう有名な話なんですけれども。だから、ほかの場でも、本来ネットに載せておかなきゃいけないものを全然載せてなくて、それで多分みすみすほかの県に後れを取っているということがたくさんあると思うんです。

でもまあ、ググればいいじゃんみたいな話だったのが、ＡＩが登場して全く局面が変わっている。だから、もうググるという作業は終わってしまって、ＡＩにその情報を探してこいというと探してくれるんですよ。ところが、ＡＩってまだまだ発展途上でうそもつく、ハルシエーションというんですけれども。うそもつくほかに、調べ方が不十分だったりするんですよ。で

も今、下手すると小学生までA Iを使って情報を集めて、それを基に世界観をつくっちゃって、学生に至ってはそれをコピペして単位を取ろうとするんですよ。いうところで今本当に、数か月単位で教育現場が本当に変わってしまっていて、大学の教員が今一番危ういんです。使わないとですね。要は、A Iが物すごい勢いで使われていて、ネットにどういう情報をちゃんと載せているかということをやらないと、A Iがついたうそで誰かが死ぬ。もしくは産地ごと死ぬ。業界ごと死ぬみたいな、そういう局面になっています。ですから、ホームページに載せてあるというのはすごく大事なんですが、1周、2周回ってホームページに載せるということの意味が全く変わっています。しかも、今63ですが、僕の世代はネットはなくても逃げ切れるみたいな人間が多いんですけれども、今の30代の年代は本当にネットまみれで、SNSでうそにまみれて生きてきているので。そんな中で、今の20代、30代で、10代の人たちのためにちゃんとした未来を残そうと思うと、A Iがどう振る舞っているかを意識した上でネット上もちゃんと整えていかないと、とんでもない間違いが起きる。やっても起きるかもしれないけれども、やらずにとんでもない結果をもたらしたら、本当に子供たちに顔向けができない。そういう時代になっています。

だから、まさにその組合員の方からそういう情報を聞きたいという声があったとき、だったら載せようと思ったら載せる工夫をしていく。それは最低限しないと。例えばパレットの問題で、実際にこういう現場の本当に一番解像度の高い情報がある中で、A Iにリンゴのパレットオーダーどう思いますかというときに、多分かなり上っ面しか並べてない。適当に答えが出てくる。で、一つ間違えると学生のレポートとか、さらにはひょっとしたらメディアの言質もそれを持ってくるわけですよ。見当外れな可能性も。本当に今、怖いですよ、A I。そういう時代にいるということは、ちゃんと、僕しか言わないだろうと思ったので今ちょっと言いましたけれども、本当にこれ怖いです。ちょっとここは、この一員として強く強く言わせていただきます。以上です。すいません、ちょっと場の空気が重くなってすみません。

でも本当に今、あれですね。ちょっとこれ関係ない話なんですけれども、イスラエルのネタニヤフ首相が、実は襲撃で殺されたという情報が流れている。そしたら、イスラエルがカフェでネタニヤフさんがコーヒーを飲んでいるという動画をアップしているんです。そしたら、それはA Iがつくった偽物じゃないかというので大騒ぎになっていて。ヒトラーとか首相とか、みんなでカフェでコーヒーを飲んでいる動画が今日も入っています。なので、そういう意味でもちょっとそう信じられない、数か月前だったら信じられないことへの対応を僕らは迫られていると思います。来年の今頃何が起きているのか、ちょっと予想が付きません。

すみません、ここで空気が重くなってしまったところで恐縮ですが、じゃあ本来の順番で今後の取組（案）について、ご説明よろしくお願いします。

〔青森運輸支局 資料3に基づき説明〕

【櫛引座長】

ありがとうございます。

今後の取組（案）について、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。

すみません、さっきの僕の発言に絡めてですけれども、何かの形でネットやSNSへの対応を、すぐにはやれなくても、話題の一つに加えるくらいしておいたほうがいいんじゃないかなという気がします。

それでは、ちょっとほかの審議が、まだ若干時間がありますけれども何かありませんか。ちょっと何となく場にふさわしくない話題も持ち出してしまいましたけれども、世の中こういういろんな組織とか意見交換のフォーマットを超えて世の中激変している。プラス、いろんな組織が本当の意味で力を合わせていかないと、持ちこたえられない時代が来ているような気がするので、会議でも、会議のための会議ではなくて、本当にみんなで生き残るための知恵を合わせていける場にできればと思います。

非常につたない進行で恐縮でしたけれども、事務局にマイクをお返しします。

4. 閉 会

【青森県トラック協会 葛西事務局長】

櫛引先生、大変ありがとうございました。

最後に、協議会終了に当たりまして、岩淵正宏東北運輸局自動車交通部長よりご挨拶を申し上げます。

【東北運輸局自動車交通部 岩淵部長】

東北運輸局自動車交通部長の岩淵でございます。

本日は、お忙しい中、当協議会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、昨今の物流革新の諸課題の解決に関しまして、多くの関係者の皆様のご理解、ご協力をいただいていることに誠に感謝申し上げます。

さて、東北地方の話でございますけれども、全国的にも報道されているとおり、人口減少あるいは少子高齢化が顕著な諸特性を有しているとされているところでございます。あらゆる産業体での高齢化、あるいは担い手不足、これが問題とされている中、この物流業界についても深刻な状況であると認識しておるところでございます。

我々運輸局としまして、そういった担い手不足の解決の一助として、高校訪問であるとか、あるいは退官予定の自衛隊の方向けのマッチングプロモーション等々を通じて、就労の促進をしている状況でございます。

その一方で、業界のほうではそういった人的な課題を解決するために、あるいは効率化、あるいは物流効率化の観点でGX、DXですね。こういった取組も始めていくというふうに考えています。特に、長距離輸送に対する中継輸送、あるいは共同配送に取り組んでいる業者もおりますし、昨年のコメ問題、米不足の問題でもモーダルシフトを活用して、日本の西のほうに効率化、迅速に取り組んだという事例もございます。

国土交通省としまして、このような取組を始めて、物流革新に向けての今日話題になりました法体系の整備、あるいは予算支援による物流環境を再構築しまして、荷主との関係性をはじめ業界の健全化にまい進してまいります。

特に、当協議会に関しましてですけれども、恐らく設立当初からのそういった取引環境でありますとか、労働時間の改善をテーマとした従前のそういったテーマに関しまして、現在当時の改善環境と全く異なっているような状況でございます。今日の説明にもございましたように、今後の法整備、改善環境によってはその都度その都度、何が課題になっておって、何を改定しなければならないのかなどをその都度その都度、多分議論が必要でありますし、検証・分析、これらを踏まえて年々、当協議会の議論もアップデートされることが重要だと思っております。

運輸局といたしまして、関係機関の皆様のご理解、ご協力を踏まえつつ、昨今のトラック・物流Gメンを最大限に活用しまして是正・指導を通じ、最適な取引環境、あるいは労働時間の改善となるよう、強力に施策を推し進めてまいり所存でございます。

改めまして、荷主企業の皆様、運送事業者の皆様が対等なビジネスパートナーとして適正化、健全化に向かうよう、今後ともご理解、ご協力をお願いできればと思います。

今日は本当にありがとうございました。

【青森県トラック協会 葛西事務局長】

長時間にわたり熱心なご議論をいただき、誠にありがとうございました。

予定のお時間、まだ早い時間でございますけれども、本日の協議会はこれにて終了させていただきます。

議事録につきましては、後日、青森運輸支局のホームページにて公表させていただく予定としております。

次回の開催日程等につきましては、追ってご連絡をさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。